

⚠️ ブロック塀などの安全点検にご協力をお願いします

過去に発生した大地震では、ブロック塀などの倒壊事故が発生しています。ブロック塀については、建築基準法によりその構造が定められ、十分な安全性を備える必要があります。

ブロック塀は、プライバシーの確保や防犯・防火などに役立ちますが、地震による倒壊事例が多いことでも知られています。

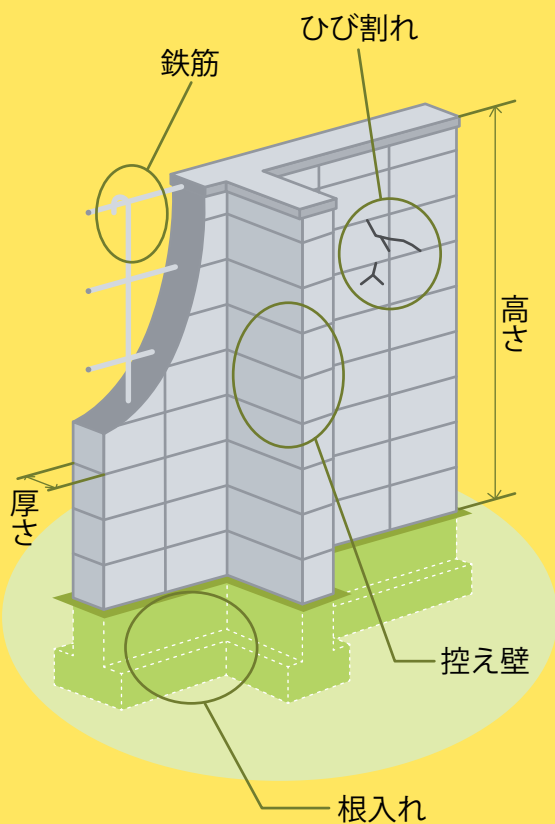
所有や管理している土地の既存の塀（ブロック塀や組積造の塀）は、所有者などが適切な点検と管理を行うことで倒壊事故防止につながります。次の国土交通省が作成した「ブロック塀などの点検チェックポイント」を参考に自己点検をお願いします。

自己点検の結果、危険性がある場合は建築士やブロック塀診断士などの専門家に相談してください。また、付近通行者への速やかな注意表示及び補修、撤去などの必要な措置をしてください。



⚠️ ブロック塀などの点検チェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。



□ 1. 塀は高すぎないか

塀の高さは地盤から 2.2m 以下か。

□ 2. 塀の厚さは十分か

塀の厚さは10cm以上か（塀の高さが 2 m超2.2m以下の場合には15cm以上）。

□ 3. 控え壁はあるか(塀の高さが 1.2m 超の場合)

塀の長さ 3.4m 以下ごとに、塀の高さの 1/5 以上突出した控え壁があるか。

□ 4. 基礎があるか

コンクリートの基礎があるか。

□ 5. 塀は健全か

塀に傾き、ひび割れはないか。

組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から 1.2m 以下か。
 - 2. 塀の厚さは十分か。
 - 3. 塀の長さ 4m 以下ごとに、塀の厚さの 1.5 倍以上突出した控え壁があるか。
 - 4. 基礎があるか。
 - 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。
- <専門家に相談しましょう>
- 6. 基礎の根入れ深さは 20cm 以上か。

専門家に相談しましょう

□ 6. 塀に鉄筋が入っているか

- ・塀の中に直径 9mm 以上の鉄筋が、縦横とも 80cm 間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部及び基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
- ・基礎の根入れ深さは 30cm 以上か（塀の高さが 1.2m 超の場合）。

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会
2013.1 より一部改

問

県西県民センター建築指導課 ☎0296-24-9149
建築課（本庁3階） ☎20-1177